

# 研究協力をお願い

昭和医科大学病院附属東病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

|   |   |
|---|---|
| 線維柱帯切除術後の角膜乱視に対する乱視矯正眼内レンズ(トーリック IOL)の矯正効果の検討 |   |
| <b>1. 研究の対象および研究対象期間</b>                      | 2022年1月1日から2025年5月10日までに昭和医科大学病院附属東病院において白内障手術時に乱視矯正眼内レンズ(トーリック IOL)を使用した患者さん。  |
| <b>2. 研究目的・方法</b>                             | 緑内障手術の代表的な術式である線維柱帯切除術では、術後に強膜弁作成方向を軸とする角膜乱視が増強することが知られています。多数の要素が複雑に絡み合って生じる術後の惹起乱視を事前に予想したり、完全に予防するのは困難です。白内障手術における乱視矯正眼内レンズ(トーリック IOL)が普及してきており、乱視矯正の精度が向上しています。そこで我々は線維柱帯切除術術後の乱視において、トーリック IOL 使用での乱視矯正効果や精度に影響する要因を明らかにするため、当院で白内障手術時にトーリック IOL を使用した結果を診療録をもとに後ろ向き研究として検討するため本研究を計画しました。 |
| <b>3. 研究期間</b>                                | 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年6月30日まで   |
| <b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b>                      | 年齢、緑内障病型、角膜内皮細胞、眼圧、眼科手術歴、乱視度数、角膜形状、緑内障点眼数   |
| <b>5. 外部への試料・情報の提供</b>                        | 該当しません  |
| <b>6. 研究組織</b>                                | 研究責任者 昭和医科大学医学部眼科学講座 齋藤 雄太  |

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部眼科学講座                      氏名：砂川 珠輝

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8                      電話番号：03-3784-8553